

埼玉県民間事業者暑さ対策設備等省エネ補助金 事業計画書

1 事業実施者

事業実施者	名称	株式会社〇〇〇〇〇				
	代表者・役職名	代表取締役 〇〇 〇〇				
	主たる事務所の所在地	〒012-3456 埼玉県〇〇市〇〇△-△-△				
	産業分類上の大分類	〇〇業	資本金又は出資金の額	〇〇〇万円	常時使用する従業員数	〇〇人
実施場所	事業所名称	□□工場				
	事業所所在地	〒987-6543 埼玉県〇〇町〇〇□-□-□				
	直近3か年の原油換算エネルギー使用量 (単位:キロリットル)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均	
		300	320	240	287	
連絡先	所属名	〇〇部〇〇課	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
	職名	課長代理	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
	氏名	〇〇 〇〇	メール	XXXXXXXX@XXX.co.jp		
	連絡先住所(郵送先)	〒987-6543 埼玉県〇〇町〇〇□-□-□				

※施工設備等をESCOで調達する場合のみ記載してください。

ESCO事業者	名称					
	代表者役職名	ESCOによる申請の場合のみ記入				
	主たる事務所の所在地	〒				
	業種／主な業務内容					
連絡先	所属名		電話			
	職名		FAX			
	氏名		メール			
	連絡先住所(郵送先)	〒				

※施工設備等をリースで調達する場合のみ記載してください。

リース事業者	名称					
	代表者役職名	リースによる申請の場合のみ記入				
	主たる事務所の所在地	〒				
連絡先	所属名		電話			
	職名		FAX			
	氏名		メール			
	連絡先住所(郵送先)	〒				

2 補助対象事業のうち設備改修に関する契約形態(ESCO形態の場合のみ)

契約形態	ギランティード・セイビングス契約	シェアード・セイビングス契約
------	------------------	----------------

※いずれかに○をつけること。

3 事業内容

事業名	屋根に対する断熱対策			
事業概要	(設備導入の概要などをご記入ください。)			
	工場の屋根(2,000平方メートルのうち1,000平方メートル部分)に対する断熱塗装の実施することで、建物内の空調負荷を軽減し、もって省エネ・省CO ₂ をはかる。			
	設備導入前の状況		設備導入後の状況	
	・(屋根部分) 竣工時から改修等の実績なし		・(屋根部分) 屋根(6,000㎡のうち3,000㎡に対する断熱塗装) メーカー:(株)〇〇 製品名:〇〇〇〇 特徴: 実施方法:	
	導入前	導入後	CO ₂ 排出削減予測量	
25.6	19.3	6.4		
	t-CO ₂ /年	t-CO ₂ /年	t-CO ₂ /年	

4 ESCO内容(ESCO形態の場合のみ)

パフォーマンス契約期間	年間(予定)	令和	年	月	～	令和	年	月
-------------	--------	----	---	---	---	----	---	---

【国補助等併用なし】

4 資金計画

(1) 事業費内訳

(単位 円)

区分	設備			工事費	合計	
	単価	数量	計			
補助対象経費	屋根の塗料(㎡あたり×1,000㎡分)	5,000	1,000	5,000,000	2,000,000	7,000,000
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
計			5,000,000	2,000,000	7,000,000	
補助対象外経費	既存設備撤去費			300,000	50,000	350,000
	既存設備にかかる処分費					0
	諸経費(共通仮設費、一般管理費等)				120,000	120,000
	その他(屋根の水漏れ対策・補修費)			2,800,000	300,000	3,100,000
						0
						0
計			3,100,000	470,000	3,570,000	
小計	見積書の合計額(税抜額)と一致すること。				10,570,000	
消費税及び地方消費税額					845,600	
総事業費	見積書の合計額(税込額)と一致すること。				11,415,600	

(注) (1) 補助対象経費の区分欄は、導入設備ごとに名称を記載すること。

(2) 補助対象外経費のその他欄は、補助対象とならない経費を記載すること。

4 補助金申請予定額の算出

(単位 円)

補助対象経費の合計	×	補助率	=	算出結果	いずれか低い額	上限額
7,000,000		1/3		2,330,000		3,000,000

※1万円未満切捨て

暑さ対策入力シート及び計算結果シート

セル内に必要事項を記入します。セル枠線外には記入できません。注意事項に留意して作成してください。
計算結果は「計算結果シート」に表れます。

I. 事業所概要

		作成日	令和元年〇月〇日
1 対策事業名	〇〇工場		
設置工事場所	埼玉県	上尾市	対象の用途 〇〇製品の製造

2 当該建物の年間消費電力

1年間の電気メーターの積算値(電力会社の伝票の1年分のkWhの値)

表-1 対象建築物の年間消費電力入力表(参考)

年間消費電力 kWh/年

3 既存空調設備の冷熱源のCOP(成績係数)

熱量効果計算における、既存冷熱源のCOP値は以下の一定値を使用する。

本ファイルの効果計算ではCOP値の変更はできない。

冷房用COP 3.55

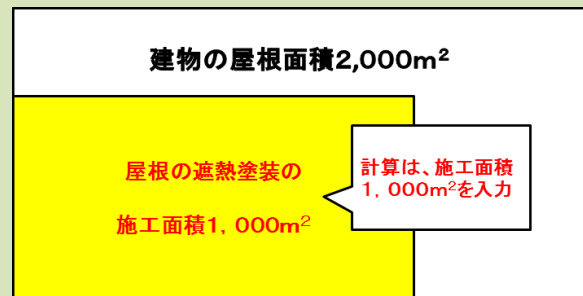
暖房用COP 3.95

4 当該施設の操業・営業時間

月の平均営業・操業日数 日/月

一日の平均営業・操業時間 h/日

月当たりの平均操業・営業時間 h/月



II. 施工内容

1 対策部位 (対策する工事をクリックし選択する。)

- 屋根
 外壁断熱
 外壁遮熱
 窓断熱
 窓遮熱

2 暑さ対策を行う屋根・外壁・窓ガラスの面積

暑さ対策を実施する屋根、外壁、窓の施工面積を記入する。施工しない場合は「0」を入力する。

方位については、図1、図2を参考にすること。

表-2 各方位の対象面積

対策部位	方位	施工面積(m ²)
屋根	-	1000
	-	0
外壁	北	0
	北東	0
	東	0
	南東	0
	南	0
	南西	0
	西	0
	北西	0
窓ガラス	北	0
	北東	0
	東	0
	南東	0
	南	0
	南西	0
	西	0
	北西	0

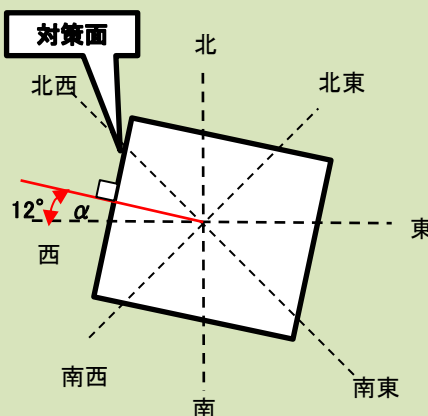


図1 方位の解釈の例1

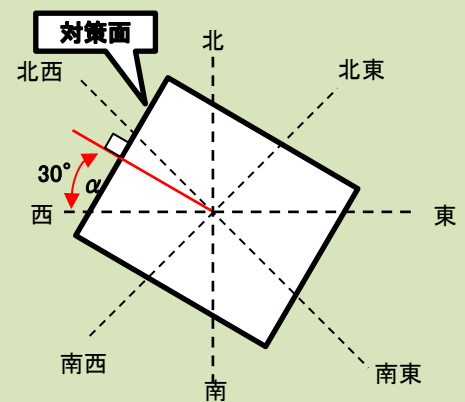


図2 方位の解釈の例

対策する面の法線(面に対して90度の線)と方角の角度 α が22.5°より、小さい場合、この面の方角面(この場合は西向き)となる。
図2の場合は北西面となる。

Ⅲ. 対策後の熱性能(熱貫流率、日射熱吸収率、日射熱取得率)

1 屋根対策

①断熱

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。
対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-3 暑さ対策による屋根の熱貫流率入力表

屋根の熱貫流率 W/(m²K) ★デフォルト値: 3.91W/(m²K)

②遮熱塗装

屋根について、対策を行わない場合は、数値を変更しない。

表-4 暑さ対策による屋根の日射熱吸収率入力表

遮熱塗装の日射熱吸収率 ★デフォルト値: 0.7

塗装するカタログや仕様書に記載の数値を記入してください。

2 外壁対策

①断熱

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。
対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-5 暑さ対策による外壁の熱貫流率入力表

部位	方位	熱貫流率	
外壁	北	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	北東	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	東	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	南東	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	南	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	南西	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	西	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)
	北西	<input type="text" value="1.18"/>	W/(m ² K)

★デフォルト値: 1.18W/(m²K)

②遮熱塗装

外壁について、対策を行わない方位の数値は変更しないこと。
対策を行う方位のみ、その数値に変更する。

表-6 暑さ対策による外壁の日射熱吸収率入力表

部位	方位	日射熱吸収率	
外壁	北	<input type="text" value="0.7"/>	
	北東	<input type="text" value="0.7"/>	
	東	<input type="text" value="0.7"/>	
	南東	<input type="text" value="0.7"/>	
	南	<input type="text" value="0.7"/>	
	南西	<input type="text" value="0.7"/>	
	西	<input type="text" value="0.7"/>	
	北西	<input type="text" value="0.7"/>	

★デフォルト値: 0.7

3 窓対策

窓対策による熱貫流率と日射熱取得率の値

表-7 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の選定表

デフォルト値	5.95 W/(m ² K)	0.876
単層高性能熱線反射相当	5.61 W/(m ² K)	0.490
複層(空気層6mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	2.50 W/(m ² K)	0.415
複層(空気層12mm)Low-E(遮蔽)6t+透明6t相当	1.69 W/(m ² K)	0.408
上記以外 (JISで示された熱貫流率)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

窓ガラスについて、対策を行わない方位の数値はデフォルト値のままとすること。

対策を行う方位のみ、プルダウンリストから選択する。

表-8 暑さ対策による窓の熱貫流率と日射熱取得率の入力表

部位	方位	窓対策の内容	熱貫流率	日射熱取得率
窓ガラス	北	デフォルト値	5.95	0.876
	北東	デフォルト値	5.95	0.876
	東	デフォルト値	5.95	0.876
	南東	デフォルト値	5.95	0.876
	南	デフォルト値	5.95	0.876
	南西	デフォルト値	5.95	0.876
	西	デフォルト値	5.95	0.876
	北西	デフォルト値	5.95	0.876

★デフォルト値:
熱貫流率 日射熱取得率
5.95W/(m²K) 0.876